

登録コード	HM119100	開講年度	2026			
授業題目	泌尿器科学特論				担当教員	秋山 佳之 他
英文授業名	Urology				副担当	皆川 倫範・齊藤 徹一
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	備考	postgraduate students
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				下部尿路機能障害の病態解析を動物実験で行うことで、神経因性膀胱などの難治性疾患に対する病態の理解ができるようになる	
(2)詳細 /Detailed information	下部尿路機能障害の評価、治療について動物実験（膀胱内圧測定、PCR検査など）で評価できるようにする。基礎実験手技の習得、病態モデルの作成、病態におけるメカニズムの評価、そのメカニズムによる新規治療薬の有効性についての評価を行う。					
(3)授業の概要 /Overview of course	下部尿路機能障害の動物モデルの作成 排尿機能の評価（膀胱内圧測定） 組織学的評価（HE染色、免疫染色等） 組織内DNAの定量（RT-PCR） データ解析および論文作成					
(4)授業計画 /Course plan	動物実験における基本手技を教科書で学ぶ 下部尿路機能障害動物モデルの作成、その治療について実験計画を策定する 倫理委員会、動物実験施設による使用許可を獲得 上記実験を実行する 実験結果は日本泌尿器科学会または排尿機能学会などの国内学会や、国際尿禁制学会、アメリカ泌尿器科学会などの国際学会で発表する。 その後科学雑誌（英語論文）の投稿を検討する					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	実験手技の確認、実験結果、その評価について検討指導する。 年度末に進捗状況についてのレポートを提出する。 レポートの内容について、 (i) 実験課題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(6)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容・テキスト ・教材・参考書 /Notes/Prep and review work/Textbook(s)/ Reference work(s)	参考文献 de Groat WC et al., Compr Physiol. 2015; 5: 327-96 Imamura T et al., Neurourol Urodyn. 2008; 27: 348-52					
(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	適宜質問等あれば泌尿器科学教室医局へ連絡をください 電話：0263-37-2661					
(8)授業の形式 /Course format	オムニバス形式					